

「学ぶことが楽しい学校」づくりの6つの重点目標



① 同和教育の推進

同和教育はすべての教育の原点です。自分が好きになる教育、なかまを大切にする教育であり、すべての人権教育につながります。「つながる」気持ちを大切に、一人ひとりがかけがえのない存在であることを実感できる子どもに育てていきます。

そのため、人権総合学習・生活科やなかまづくりに取り組むことで、差別をなくしていこうと行動することができる子どもたちの育成をめざします。

② 学び合う授業づくり

安心して自分を出せる集団のなかで、主体的に学習に取り組み、基礎の力を子どもたちに身につけさせていきます。友だちの考えや思いを聴くことで学びが深まり、互いに高め合っている子どもの姿をめざします。そのために、子どもたちの実態を的確に把握し、聴く・話す力や子どもにつけたい力を積み上げるための指導方法の工夫に努め、授業づくりを行います。

③ 基本的な生活習慣の定着

子どもたちの成長にとって、運動・食事・睡眠がとても重要な要素であると考えます。また、きまりを守り、あいさつや清掃を進んで行う態度や学習習慣の育成に取り組んでいきます。

そのような土台となる基本的な生活習慣を家庭と連携しながら定着させることが、基礎の力を育むことにつながると考え、取り組みを進めていきます。

④ 一人ひとりを大切にされた教育

日々の取り組みのなかで、一人ひとりの教育的ニーズに合わせた指導・支援を大切に、ともに学ぶことができる教育の充実を図っていきます。一人ひとりがもてる力を高めていけるよう校内特別支援委員会を中心に学校全体で支援の在り方を考えていきます。また、スクールカウンセラーや関係機関と連携しながら子どもや保護者の心のサポートに努めていきます。ともに生きることを大切にできる学校を作ります。

⑤ 子ども主体の地域に学ぶ取り組み

子どもは学校・家庭も含めた地域の中で育っていくものであり、学校は「地域立」とも言えます。地域にある教育力や子育て力、人と人との結びつきを活かして、「この神前が大好き！」と言える人に育つように、子ども主体の学習活動を進めていきます。

そのため、コミュニティーかんざき(運営協議会)をはじめ、地域と連携した教育活動に取り組んでいきます。

⑥ 安全・安心な学校づくり

子どもたちのかけがえのない命を守るために、安全・安心な学校づくりが必要不可欠と考えます。子どもたち自らが安全、防災・防犯の意識をもてるよう日常の指導を大切に、安全教育、防災・防犯教育の充実に取り組んでいきます。また、保護者をはじめ、地域全体で子どもの安全確保を図っていく取り組みが進むよう働きかけていきます。